

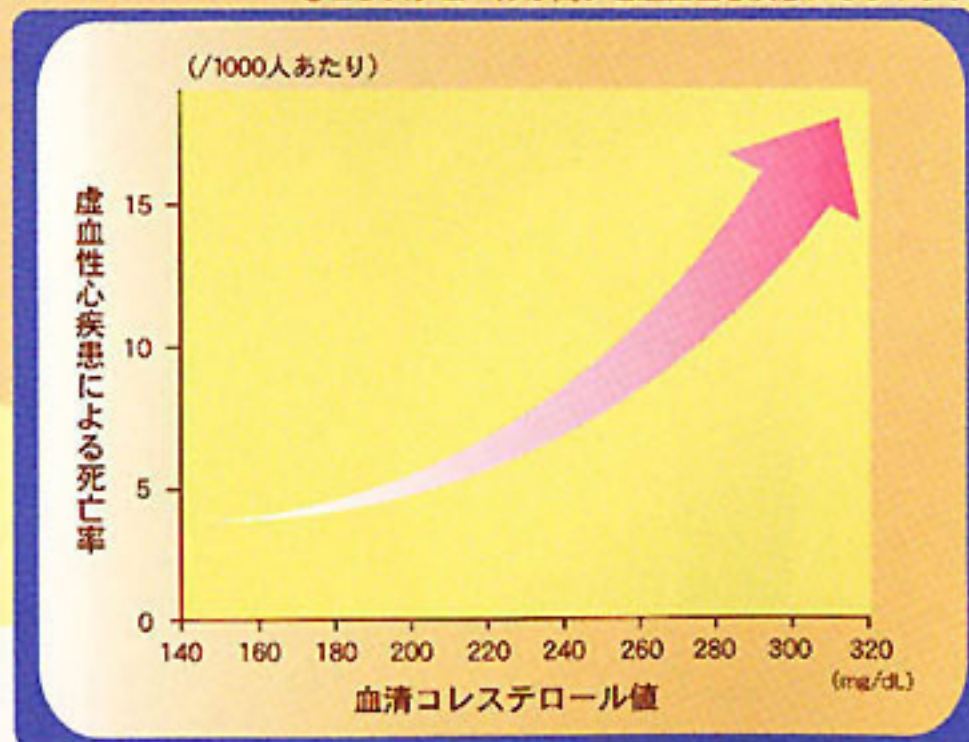


どうしてコレステロールを下げると？

Q&A 1

コレステロールは健康を維持するのに欠かせない栄養分ですが、必要量以上に存在すると高脂血症になり、血管にコレステロールが蓄積されて動脈硬化を起こし、血管が狭くなったり、詰まったりします。これが心臓で起きると狭心症や心筋梗塞になり（虚血性心疾患）、脳で起きると脳卒中になります。このような状態にならないように、血液中のコレステロール値を下げる必要があります。

●コレステロールが高いと虚血性心疾患になりやすい



動脈硬化のリスクを減らすためです。



動脈硬化が進んで狭心症や心筋梗塞、脳卒中などにならないためにも、コレステロール値はしっかり管理しましょう。また、高脂血症と喫煙、高血圧、糖尿病などが重なると、血管内膜のプラーク*の形成がはやまり、プラークが破れると血管閉塞を引き起こします。薬物療法によりコレステロールを低下させることで、

プラークが脂肪分の少ない強固なものになり、破れにくくなります。

*プラーク=動脈硬化巣に存在する内膜の厚くなった病巣。

